

第 34 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 2 月 26 日（金）午後 7 時 30 分から午後 7 時 50 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、舟本副知事、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、商工労働観光部長兼企画理事、京都府議会事務局長、教育長、警察本部警備部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局副局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・ 先ほど、政府の対策本部会議が開催され、京都府を含む 6 府県の緊急事態の解除が決定いたしました。
- ・ 本日の本部会議では、緊急事態後のステージにおける今後の対応を協議いただくこととしています。
- ・ それでは知事に会議の進行をお願いいたします。

【知 事】

- ・ 今ありましたように、京都府内の緊急事態措置が、2 月末で解除され、次のステージへ移るということになりました。
- ・ 府内の新規感染者は、1 月 17 日の 154 人をピークに、本日は 8 人、7 日間平均では 8.9 人と、減少しております。
- ・ この間、医療従事者の皆様に、本当に御協力を賜りまして、医療提供体制の改善度は、新規感染者数に比べれば緩やかではありますが、改善してきています。
- ・ 政府の諮問委員会でも、様々な意見も出てきたと聞いており、そうしたことも踏まえながら、本日の本部会議では、緊急事態措置後のステージにおける対応について議論したいと考えています。
- ・ まずは、感染状況について健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・ 続きまして、緊急事態後のステージにおける対応等について、危機管理監から、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料2に基づき報告

【知 事】

- ・ ここまでの報告について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくお願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・ 緊急事態宣言が解除されて、次のステージに移行するということになりました。府民の皆様をお願いする活動の制限は、段階的に解除される方向で進めていくことになりましたが、ウイルスの感染リスクは無くなったわけではないということを忘れないでいただきたいと思います。
- ・ 今回の感染者数の減少は、府民の皆様の行動の結果であるということは間違いありません。
- ・ 社会活動を再開しながら、ウイルスに感染しないための行動はどういう行動なのか、自身がかかっているかもしれない時に人に移さない行動はどういう行動なのか、この1年間でやってきたこと、分かってきたことをこれからも実践することが大切です。実践しながら、新しい日常を作り出すということが次のステージであると考えます。
- ・ 府民の皆様には、今一度、御理解と御協力をお願いしたいと思いますし、京都府からも府民の皆様へ、明確なメッセージの発信をお願いします。

【知 事】

- ・ まさに御指摘のとおり、感染者数の今の減少というのは、府民の皆様おひとりおひとりの行動と、これまで積み重ねてきた感染予防策の結果です。
- ・ ここでそれが緩んでしまうのが一番怖いと思っていますので、引き続き、最大限の警戒を張っていきたいと思っています。
- ・ 続きまして、京都市の三科危機管理監から御意見をよろしくお願いいたします。

【京都市危機管理監】

- ・ 緊急事態宣言発出の2日前に、京都市内で新規感染者数が108人という最大の数字をカウントし、市民の皆様、事業者の皆様、そして保健、医療の皆様の御理解と御協力により、1桁の数字になってきました。
- ・ 2か月半にわたって非常に大きな数字が並んでまいりまして、対峙をしてきたわけですが、ややもすると数字が非常に大きいことに慣れてしまって、今日も新規感染者が8人出ていますが、そういったことが非常に小さく見える、この辺りは肝に銘じて取り組んでいく必要があると京都市のミーティングにおいても話をしていたところであり、やはり数人から始まっていく、感染経路不明というのは非常に危険であると、こういう原点に立ち返った取組が必要であると認識しています。
- ・ この度の取組は、新しいステージに移行していく、そしてリバウンドを牽制しながら社会経済活動を段階的に緩和していく、そのための過渡期であるということをしっかりと認識して、また市民の皆様、事業者の皆様にそのあたりを御理解いただけるように京都市役所あげて取り組んで

いきたいと思っています。

- ・ このあと 8 時半から市のほうでも対策本部会議を開き、情報を共有し、しっかり取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

【知 事】

- ・ 今の話も非常に重要でありますし、まさに意識をしっかりとって、感染者の数に慣れないということが非常に重要だと思っております。
- ・ 飲食店につきましては引き続き、内容を変えながらも継続してまいります。特に京都市のウエイトも高いので、引き続き連携して、延長期間の協力要請が的確に実施されますよう取組を進めたいと思っています。よろしくお願いします。
- ・ 他に御意見、御発言等があればお願いします。無ければ、この事務局案により、緊急事態から次のステージへ移るということですが、リバウンドを防ぐという非常に重要なことですので、引き続きその観点を踏まえて、すべての施策の推進に努めていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
- ・ それでは続きまして、健康福祉部長のほうから、感染再拡大、それを早期に探知するためのモニタリング検査の実施等につきまして御報告をお願いいたします。

【健康福祉部長】

※資料 3 に基づき報告

【知 事】

- ・ 再拡大の備えのための一番最初は、キャッチするということです。先行して緊急事態宣言が解除された栃木県において、既に一部具体化していますが、国との連携の下での P C R のモニタリング検査です。なるべく効果的にできるように、国との連携もお願いしますし、実施の細部についてはさらに詳細な検討をお願いしたいと思っています。
- ・ そのほか、他の部局から何かありますでしょうか。
- ・ 無ければ、本日の会議の総括を申し上げたいと思っています。繰り返しになりますが、次のステージに移行しますが、なんといっても再拡大、リバウンドへの警戒が最重点課題です。そういう意味で 3 点について、万全の対応をお願いしたいと思います。
- ① 本日決定いたしました、次のステージの措置については、確実に実施されますよう、府民、事業者の皆様にも丁寧な広報に努めていただきたいと思います。
- ② 飲食店の営業時間短縮の要請について、本当にいろんな御負担をかけているわけです。それだけに、円滑かつ確実に実施されるように京都市はじめ府内の市町村との引き続きの連携で、しかも実施状況の定期的な確認、啓発を実施していただきたいと思います。
- ③ ワクチン接種について、いよいよ相談センターの体制が今日から、組織体制につきましては来週から強化いたします。これも、市町村、医療機関の皆様等、様々な関係者と連携して、接種が円滑に進むよう全力で取り組んでいただきたいと思います。
- ・ どうか、今日は新しいステージに入りますが、これは決して緩むということではなく、再拡大の

防止のために新たなスタートを切るといふ、そういう緊張感をもって引き続きの対応をよろしく
お願いします。

【危機管理監】

- ・ 関係部局においては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いしたいと思います。
- ・ 本日は御多忙のところ、また遅い時間帯に松井議長、また三科危機管理監には御出席を賜りまして本当にありがとうございます。
- ・ 以上をもちまして、対策本部会議を終了させていただきます。